

2019年1月吉日

日本人学生の留学状況調査を発表
日本人学生の海外留学者数が大台の10万人を突破！
留学先の増加率1位は中国、次いで台湾、アジア人気が上昇！
～東京2020開催に向けて期待される留学増加～

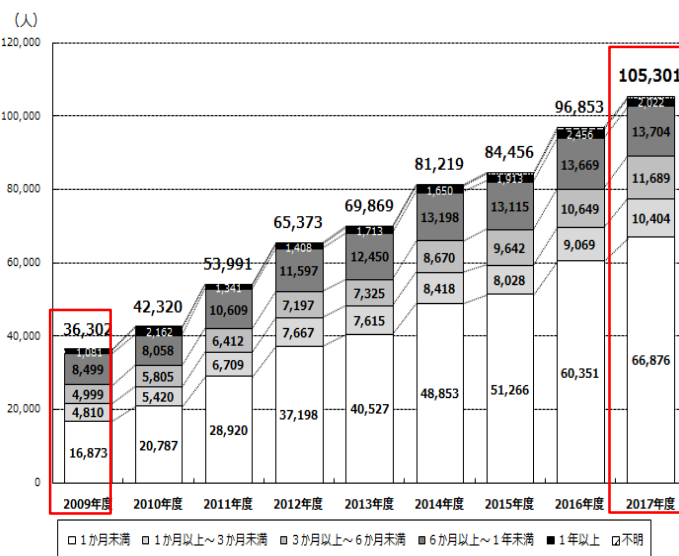
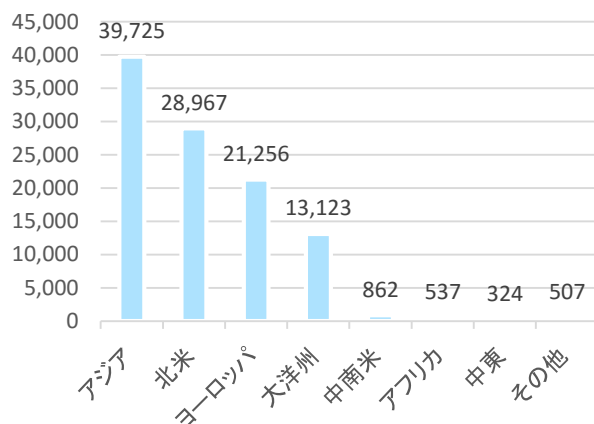
(独) 日本学生支援機構は、2019年1月に、日本人学生（※1）の海外留学状況等の最新の調査結果を発表しました。(P1)

過去9年増加し続けている日本人学生の留学者数が10万人を超えたことを受け、その背景の学生の意識調査結果(2018年・トビタテ! 留学JAPAN(※2) が実施・P2)を併せて紹介します。

■日本人学生の海外留学者数が過去最高の105,301人を記録。アジアへの渡航数が高まる。

日本人学生の海外留学者数が初の10万人台を突破し、過去最高の105,301人となりました。2009年度から比較すると、3倍近くになっています。

留学先としては、中国、韓国を始め、台湾、タイ、フィリピンなどアジア圏への留学者数が増加しており、特に、中国と台湾では増加率が20%を超え、大幅に増加しています。一方、アメリカ合衆国への留学者数は減少しており、留学先の選択肢がより多様化してきていることが伺えます。



No.	国・地域	留学者数		前年度比増減	
		2017年度	2016年度	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	19,527	20,214	△ 687	△ 3.4%
2	オーストラリア	9,879	9,485	394	4.2%
3	カナダ	9,440	8,908	532	6.0%
4	中国	7,144	5,787	1,357	23.4%
5	韓国	7,006	6,489	517	8.0%
6	イギリス	5,865	5,840	25	0.4%
7	台湾	5,187	4,238	949	22.4%
8	タイ	4,838	4,278	560	13.1%
9	フィリピン	3,700	3,213	487	15.2%
10	ドイツ	3,125	2,882	243	8.4%
-	その他	29,590	25,519	4,071	16.0%
	合計	105,301	96,853	8,448	8.7%

■最も留学者数の多い大学は早稲田大学で2,770人

最も留学者数の多い大学は早稲田大学（2,770人）でした。

次いで2番目が京都大学（2,209人）、3番目が立命館大学(2,049人)となりました。以降は次の順の通りです。

東洋大学（1,961人）、東京大学（1,871人）、同志社大学（1,713人）、関西学院大学（1,572人）、関西外国語大学（1,556人）、大阪大学（1,521人）、明治大学（1,520人）

(出典及び留學生の定義)

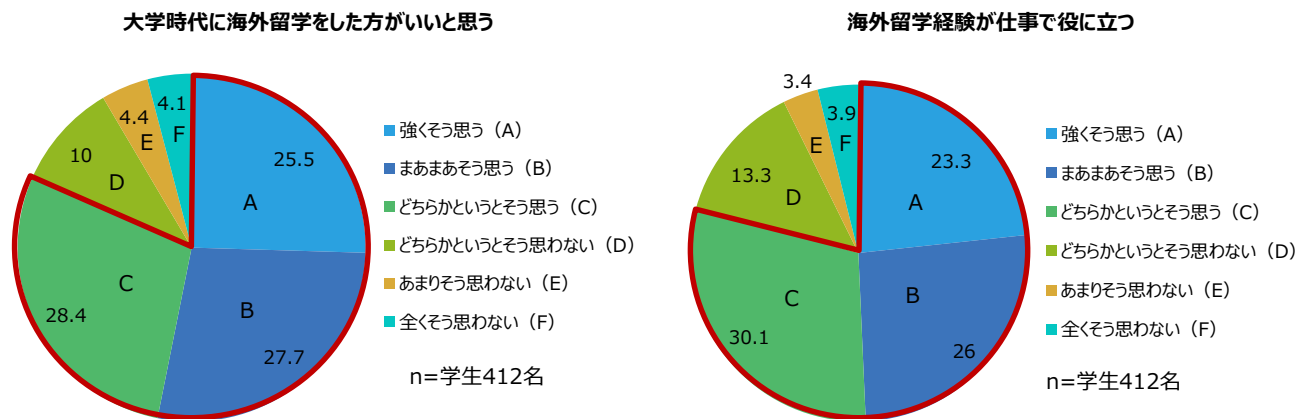
(独) 日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果 ※2017年度実績」(2019年1月)

対象は、日本国内の高等教育機関に在籍する学生等で、日本国内の大学等と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づき、教育又は研究を目的として、海外の大学等で留学を開始した者及び、在籍学校において把握している限りにおいて、協定に基づかない留学をした者。短期の交換留学等も含む。

※1：日本人学生とは：我が国の大学、大学院、短期大学、高等専門学校（第3年次以上で専攻科を含む）、専修学校（専門課程）に在籍者です。

■約8割の学生が留学に対してポジティブな意見を持っている

学生及び採用担当者を対象とする海外留学に関するアンケート調査によると、学生の**81.6%**が「**大学時代に海外留学をした方がいいと思う**」、**86.6%**が「**留学する大学生は今後増えると思う**」と考えていることがわかりました。海外留学をした方がいいと思う理由として、「**海外への留学生の増加が日本経済の発展に有効だと思う**」(**70.2%**)、「**海外留学経験が仕事で役に立つ**」(**79.4%**)といった点を挙げています。大学生の多くが海外留学に対してポジティブな意見を持っているため、今後も海外留学者数が増加することが期待できます。



(出典) トビタテ！留学JAPAN「海外留学に関するアンケート調査」

■採用担当者の留学経験学生への期待感や、東京2020開催が海外留学促進に与える影響

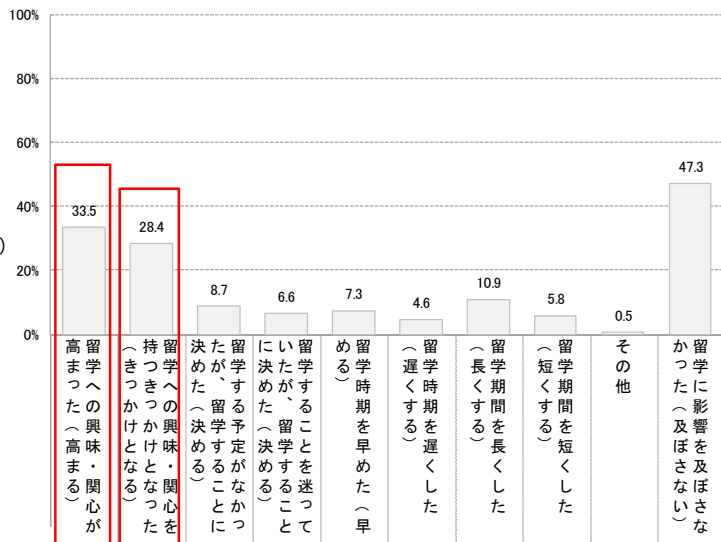
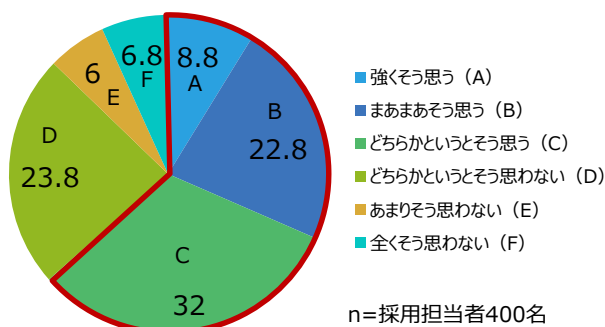
同アンケート調査では、**企業採用担当の63.6%**が「**留学経験者を今後積極的に採用していきたい**」、**61.1%**が「**今後、留学中の学生のための選考における配慮（オンライン面接、採用時期の変更など）を実施・強化したい**」と回答。また、**就職活動を経験した留学経験学生の86.0%**および**企業採用担当の92.8%**が「**海外留学の経験が就職活動において良い影響を与える**」と回答。採用担当からの評価も高く、実際に就活をした留学生も手ごたえを感じているようです。

2020年には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。学生に、「2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定による海外留学への影響」について調査したところ、「留学への興味・関心が高まった」(33.5%)、「留学への興味・関心を持つきっかけとなった」(28.4%)と回答。海外留学への関心も高まっていることがわかりました。

このことから、留学経験が就職活動でも良い影響を与える傾向にあること、さらに東京2020の開催も大学生の海外留学を後押しすることが予想されるため、今後、海外留学への機運が高まることが期待できます。

留学経験者を今後積極的に採用していきたい

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定による、海外留学への影響について



(出典) トビタテ！留学JAPAN「海外留学に関するアンケート調査」
(2018年5月) 学生412名、採用担当者400名

調査方法：インターネット調査

※調査結果の数字は四捨五入のため合計値が必ずしも一致しない場合があります。

※ 2 : 「トビタテ！留学JAPAN」とは

<https://www.tobitate.mext.go.jp/>

文部科学省初の官民協働留学促進キャンペーン。2020年までに、海外留学する学生を倍増する目標を掲げてスタート。

主な取り組みである「日本代表プログラム」は、100%民間の寄附を財源とし、民間企業約230社から116億円以上の寄付が集まり、返済不要の奨学金でサポートする留学支援制度です。

留学期間を28日以上2年以内で自由に設定でき、渡航先100か国以上、多様な7コースを用意。座学だけではない多様な留学を通じて、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で活躍できる人材の育成を目指し、既に5,000名以上を選抜し約100か国に留学しています。



＜本件に関する報道関係者お問合せ先＞

「トビタテ！留学JAPAN」広報担当：西川

電話：090-1775-9752（携帯） 03-5253-4111（代表） 03-6734-3624（直通）

FAX：03-6734-4936 E-mail: t-nishikawa@mext.go.jp